

54 文化・生涯学習・スポーツの振興

(1) 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

●文化芸術・生涯学習施策の推進

『ビジョン』に基づき、区の魅力的な文化の掘り起こしや一流の音楽家・芸術家などによる本格イベントの開催など、文化芸術および生涯学習施策のさまざまな取組を進めている。

●文化芸術の振興に関する事業

身近に文化芸術に触れる機会を提供するため、「絵画展示」と「野外彫刻設置」の2つの事業を行っている。

また、地域の魅力を高めるため、区ならではの文化芸術事業を実施している。

- ・真夏の音楽会 vol. 4 大谷康子と楽しむ七夕の宵—神話の世界と宇宙の旅—
- ・こどもアートアドベンチャー
- ・みどりの風 練馬薪能
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

●映像∞文化施策の推進

区では昭和初期から現在に至るまで実写・アニメを問わず映像を作る環境が整っている。こうした状況を背景に、区と映像のつながりや映画の魅力を伝える様々な事業を実施した。

1 映像∞文化のまち構想の策定

映像やアニメなどの映像文化をテーマとしたソフト・ハードが一体となった夢のあるまちづくりを進めるため、3年11月に構想を策定した。

2 ねりま映画サロン特別上映会

日本を代表する名優の代表作の上映会を実施した。

3 映像文化と教育の連携事業の実施

区内の小・中学校において、映像制作等の体験授業を実施している。3年度は14校延べ16授業を実施した。

4 映像文化情報の発信

(1) ねりま映画サロンの実施

区ゆかりの俳優による対談動画をオンライン配信した。

出演：仲代達矢氏、毒蝮三太夫氏、山川静夫氏

- ###### (2) 映像∞文化のまち ねりま PROLOGUE の運営
- 区が誇る映像文化の魅力を区内外に発信するサイトで、上記対談動画やインタビュー記事を配信した。



〔サイトメインビジュアル〕

(3) 練馬アニメーションサイトの運営

区とアニメのつながりや練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」の情報を区内外に発信している。

●公益財団法人練馬区文化振興協会

豊かな区民文化の創造と多様な文化の発展に寄与することを目的に、昭和57年9月に財団法人として設立した。その後、平成24年4月に公益財団法人に移行し、28年度から、日本を代表するヴァイオリニストの大谷康子氏を理事長に迎えた。

地域における自主的な文化芸術活動を促進し、また文化芸術の裾野を広げるため、区内文化団体への活動支援を行うとともに、区民に向けて情報を広く発信している。

石神井公園ふるさと文化館、美術館、練馬文化センターおよび大泉学園ホールの指定管理者として、魅力ある文化芸術の事業の充実に取り組んでいる。

●練馬文化センター

区の文化芸術拠点として区民文化の創造と発展に寄与するため、昭和58年4月に開館した。

令和3年度は指定管理業務として、音楽、伝統芸能などの公演事業、区民の文化芸術活動・団体の支援などを実施した。(25事業)

1 公演事業 20事業

(1) 音楽事業 3事業

①クラシックコンサート 2事業

②アトリウムミニステージ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、「アフタヌーン・ミニコンサート」として実施

(2) 伝統文化事業 3事業

①能楽公演

②能楽体験ワークショップ

③小学校狂言師派遣事業

(3) その他公演事業 14事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、14事業のうち、1事業延期、1事業中止、1事業実施方法を変更した。

2 区民の文化芸術活動・団体の支援に係る事業

5事業

〔練馬文化センターの利用状況〕 3年度

	利用件数 (件) (※)	入場者数 (人)
大ホール	235	109,483
小ホール	256	55,516
ギャラリー	97	3,803
リハーサル室	1,184	20,304
集会室	565	6,210
計	2,337	195,316

※：延べ利用団体件数

●大泉学園ホール（大泉学園ゆめりあホール）

区民文化の創造と発展に寄与するため、大泉学園駅北口再開発ビル「ゆめりあ1」内に、平成14年2月に開館した。

〔大泉学園ホールの利用状況〕 3年度

	利用件数 (件) (※)	入場者数 (人)
ホール	399	23,362
ギャラリー	85	5,495
計	484	28,857

※：延べ利用団体件数

●練馬区立美術館

区民の美術に関する知識および教養の向上を図り、区民文化の発展に寄与することを目的に、昭和60年10月に開館した。

美術に関する学識経験者等により構成する美術館運営協議会を設置し、幅広い意見を反映した活動を行っている。

美術館の再整備については、基本構想策定検討委員会の提言をもとに、区民意見反映制度により寄せられた意見等を踏まえ、令和4年3月に基本構想を策定した。4年度は、基本構想で掲げるコンセプトの実現に向け、基本設計に着手する。

1 展示事業

年間4～6回の企画展や、美術館の所蔵作品によるコレクション展などの展覧会を開催している。また、地域に根差した美術館として、区内在住の美術家協会会員の作品を紹介する「練馬区美術家協会展」や、区民の公募作品による「練馬区民美術展」を開催している。

〔企画展〕

3年度

展覧会名	会期	観覧者数 (人)
8つの意表展 ー絵を描く、絵に描く、 画家たちのキセキー (※)	6月1日～6月 20日 (18日間)	1,551
まるごと馬場のぼる展 ー描いた つくった 楽しんだ ニャゴ!ー	7月25日～9月 12日 (43日間)	28,739
ピーター・シスの闇と夢展	9月23日～11月 14日 (46日間)	11,296
収蔵作品による小林清親展 【増補】ーサプリメントー	11月23日～1月 30日 (55日間)	7,055
生誕110年 香月泰男展	2月6日～3月 27日 (43日間)	12,010

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期を短縮して開催した。

2 教育普及事業

展覧会関連の企画を中心に各種講座やワークショップを実施している。また、「スクールプログラム」による団体鑑賞や職場体験等の受入れ、小・中学校の教員を対象にした学芸員による作品解説を行う「ティーチャーズデイ」の実施、鑑賞学習教材の貸出しなど、学校との連携を深めている。

3 美術作品の収集

区にゆかりのある優れた作品の収集を行うとともに、幅広い視野から近・現代の優れた美術作品を系統的に収集している。3年度末の全所蔵数（寄託含む）は7,642点である。

4 美術の森緑地

平成27年3月に美術館の前庭にあたる緑地をリニューアルし、動物彫刻等32体を野外展示している。

●石神井公園ふるさと文化館

区の伝統文化を生かし、新たな地域文化を創造するため、観光振興にも寄与する博物館機能を有する施設として、平成22年3月に開館した。

また、隣接公園内に「旧内田家住宅」（区指定文化財）を移築復元し、建物内部も公開している。

26年4月1日に区立石神井松の風文化公園管理棟内に分室を設置した。

館の事業には区民サポーター90名が携わり、区民と館を結ぶ役割を担う存在として活動している。3年度は、分室を含め延べ164,360人が来館した。

1 展示事業

(1) 常設展

「江戸・東京の近郊の暮らし」をテーマに、練馬区の歴史・民俗・伝統文化の特色を伝える展示を行っている。分室では、練馬ゆかりの文化人に関する展示事業と作家・五味康祐氏が愛用したオー

ディオの展示のほか、期間限定の特集展示などを行っている。

(2) 特別展

区の歴史などのほか、幅広い視野からテーマを設定した特別展を3年度は1回開催した。

〔特別展〕		3年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
ー生誕100年記念ー 「作家・庄野潤三展 日常という特別」	1月15日～3月 13日(50日間)	2,275

(3) 企画展

収蔵資料などからテーマを決めた企画展を3年度は3回開催した。

〔企画展〕		3年度
展覧会名	会期	観覧者数(人)
「石神井城 中世豊島氏ここにあり」(※)	4月3日～4月 24日(19日間)	2,219
「発見! 地図から練馬を見てみよう」	6月12日～8月 9日(51日間)	3,857
「思い出のとしまえん」	9月11日～11月 7日(50日間)	15,790

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期を短縮して開催した。

(4) わがまち練馬情報コーナー 1・2

区内の自然・名所や、伝統工芸、ねりコレなどの産業情報、区民の創作作品を展示、紹介している。

2 教育普及事業

区の歴史・民俗・伝統文化等に関する講座、季節体験事業などを実施している。分室では、貴重なオーディオを用いて、さまざまなイベントを開催している。

3 資料収集事業

区の伝統文化にかかわる資料を幅広く系統的に収集している。

4 施設貸出し

区民の文化活動の練習・発表の場として、多目的会議室、企画展示室、ギャラリー、展示用ボックス等の貸出しを行っている。

●生涯学習センター

昭和28年に練馬公民館として開館し、平成24年4月に名称を「生涯学習センター」と変更した。29年度には、生涯学習施設を生涯学習センター分館と向山庭園を合わせた3館体制とし、生涯学習センターを区の生涯学習の中核を担う施設として整備した。

地域活動を行う人材の基盤づくり、生涯学習を行う団体への支援、生涯学習に関する情報提供を中心とした事業を行っており、施設は区民の自主的な活動場所として利用されている。

1 地域活動を行う人材の基盤づくり

(1) 武蔵大学特別履修生制度

4月から翌年3月までの1年間、武蔵大学で大学生と一緒に授業を履修する制度である。ボランティア活動の経験者、「つながるカレッジねりま」または「練馬Enカレッジ」の受講生もしくは修了生を対象としている。履修料の一部を区と武蔵大学で負担する。3年度の履修生は24人だった。

2 生涯学習団体等の支援

(1) 生涯学習団体届出制度

芸術・文化、市民生活、社会教育、子育て、健康、福祉、レクリエーション、スポーツ等さまざまな分野で活動し、一定の要件を満たす団体を生涯学習団体として登録している。

団体の名簿を公開しており、新たな会員獲得による団体の活性化を支援している。3年度末現在、1,487団体が区に届出されている。

(2) 団体活動支援

区民文化祭、サークル文化祭、文化団体舞台発表促進事業等の文化活動団体の発表を支援するほか、趣味と仲間づくり講座「縁ジョイ倶楽部」を実施し、新たな会員募集の支援を行っている。

3 生涯学習情報の提供

(1) 区民発出前講座

さまざまな趣味や特技を持つ区民・団体に、講座の企画内容を登録してもらい、地域の団体・サークルに講師として紹介している。3年度末現在で、56講座が登録されている。

(2) 学びと文化の情報サイト(あ・そ・ふサイト)

学びに関する団体情報や区内で開催されるさまざまな催し等の最新情報を、区民が活動したいときや学びたいときに、いつでも得られるよう情報提供している。

〔各種事業実施状況〕

3年度

事業名	実施状況	
縁ジョイ倶楽部	9講座 延べ361人受講	
盆踊り講習会	実施なし(※)	
練馬児童合唱団	在団生 47人 定期演奏会 1回 539人入場	
サークル文化祭	舞台発表会	実施なし(※)
	作品展	実施なし(※)
区民文化祭	参加団体 11団体 4,699人参加	
寿大学通信講座	書道・俳句2科目 延べ4,479人受講	
	スクーリング 5回 延べ115人受講	
	書初め展 1回 書道140点 俳句163句 出品	
公開講座	実施なし(※)	
区民将棋大会	実施なし(※)	

※：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止した。

〔生涯学習センターの利用状況〕

3年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
ホール	351	27,559
第一会議室	477	3,229
第二会議室	432	2,690
第一教室	684	9,038
第二教室	498	3,802
第三教室	496	3,942
和室(大)	537	3,483
和室(中)	378	2,563
和室(小)	442	1,982
美術工芸室	380	3,000
視聴覚室	614	7,490
調理実習室	53	373
陶芸室	192	493
保育室	180	565
合計	5,714	70,209

〔生涯学習センター分館の利用状況〕

3年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
講座室1	190	1,353
講座室2	164	1,006
講座室3	293	1,908
講座室4	366	2,897
講座室5	387	4,309
講座室6	261	1,187
講座室7	159	855
講座室8	104	1,215
講座室9	99	1,588
和室	55	287
料理室	49	226
工作室	261	2,159
美術室	428	2,425
音楽室1	739	7,248
音楽室2	642	3,695
陶芸室	489	1,873
保育室	20	146
合計	4,706	34,377

注：学習室利用人数…4,230人

●向山庭園

庭園を有する和風の施設である。文芸・茶道・華道・囲碁などの活動場所としてだけでなく、会議や学習の会場としても、広く区民に親しまれている。

平成30年度からは、春に観桜会、秋に観楓会として、コンサート・茶会・いけ花の展示などのイベントを行っている。

管理運営は指定管理者が行い、年末年始を除く通年開園している。

〔向山庭園の利用状況〕

3年度

	利用件数(件)	利用者数(人)
茶室	497	1,831
和室(第1)	562	1,758
和室(第2)	614	1,871
和室(第3)	426	2,783
多目的室	545	2,341
日本庭園	11	35
庭園見学者	-	61,020
計	2,655	71,639

●学習の機会の充実

現代社会のさまざまな人権問題に関する学習を、生涯各期にわたり推進するため、人権講座を開催している。

3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全5回中1回を中止した。

・地域ふれあい講座(4回実施、23人参加)

●学校施設の地域開放推進

学校が地域の核として健全で豊かなコミュニティづくりの場となることを目指して、学校施設を開放している。

- ・校庭開放
- ・学校図書館開放
- ・教室開放
- ・学校体育館開放

なお、3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開放を休止した時期がある。ただし、校庭開放および学校図書館開放については、当該校の児童は利用できることとした。

●学校施設の一般利用

学校応援団や学校開放運営委員会による施設開放のほかに、学校への事前申請に基づき、区民の一般利用に提供している。

提供する施設は、校庭、屋内運動場、教室などのほか、開進第二中学校と大泉中学校に設置しているセミナーハウスがある。

(2) 読書活動を支援する

【関連資料：「練馬区教育要覧」練馬区教育委員会】

●図書館

地域の情報拠点として、図書館資料の収集・貸出しをはじめ、行政情報や地域情報を発信するとともに、区民の読書活動の普及・啓発のため、さまざまな事業を実施している。

また、利用者が求めている資料を的確に探し出し、調査や学習を手助けするためのレファレンスサービスの充実を図っている。

さらに、平成25年6月に策定した「練馬区立図書館ビジョン」により、図書館運営の基本理念を「情報拠点として 区民に役立ち 頼りにされ 愛される図書館」とし、サービスの充実を図っている。

1 施設の充実

(1) 図書館（12館）

光が丘、練馬、石神井、平和台、大泉、関町、貫井、稲荷山、小竹、南大泉、春日町、南田中

(2) 分室（1分室）

南大泉図書館分室（こどもと本のひろば）
乳幼児から小学校低学年までの子どもたちと、その保護者を対象としている。

(3) 図書館資料受取窓口

高野台（生涯学習センター分館内）、豊玉（豊

玉リサイクルセンター内）、石神井公園駅（西武池袋線高架下）、大泉学園駅（リズモ大泉学園4階）、北町（北町地区区民館内）、上石神井（上石神井南地域集会所内）に設置している。

予約した資料の受取と返却および利用登録ができる。また、資料の検索・予約ができる（高野台を除く。）。

2 利用の促進

「東京都公立図書館調査（3年度実績）」によると、図書館資料の個人貸出点数および、個人予約点数は23区中第1位となっている。

資料の閲覧や貸出しのほか、季節や社会情勢に沿ったテーマの資料を展示するなど、利用者の読書の幅が広がるよう工夫している。加えて、普段馴染みのない本にも興味を持ってもらうため、内容が分からないように本を包装した「本の福袋」の貸出しも行っている。

また、読んだ日、タイトルや感想などを自分で記入することにより、読書記録をつけることができる読書ノートを配布している。

このほか、図書館をより身近に感じてもらうため、生活や趣味に関連した講座や講演会、参加型イベント、バリアフリー映画会や音楽会なども開催し、一部をYouTube練馬区立図書館公式チャンネルで公開している。

3 子どもの読書活動の推進

子どもたちが本に親しみ、生涯にわたり読書習慣を身につけることができるよう「第四次練馬区子ども読書活動推進計画」を2年3月に策定した。これにより、発達段階に応じた読書環境を整えるため、さまざまな取組を進めている。

(1) 事業

・よみきかせ・おはなし会やおたのしみ会

・ブックスタート事業

赤ちゃんと保護者が絵本を介して触れ合えるよう、絵本を手渡す事業

3年度 3,349セット配付

・本の探検ラリー

クイズを解きながらさまざまな本と出会い、親しむことができる参加型イベント

(2) ボランティアとの連携

読書活動の担い手の育成に努め、関係団体との連携を図っている。

・ボランティアへの講習会の実施

・ボランティア団体との協働

・地域文庫の活動への助成

3年度 15団体 551冊

〔子どもの読書活動推進に関する催し実施状況〕 3年度

催し物名	実施数	参加者数 (人)
よみきかせ・おはなし会	672回	6,403
おたのしみ会	21回	479
子ども読書の日・こども読書週間記念行事	1回	19
本の探検ラリー (小・中学校開催)	延べ28校	2,827

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を中止・縮小した。

4 学校支援

小・中学校への団体貸出し、「ブックトーク」（テーマに沿ってさまざまなジャンルから本を紹介する事業）や図書館見学・職場体験の受入れなどを実施し、子どもたちの読書活動を支援している。

また、指定管理者が運営する館（10館）のうち5館では、学校支援モデル事業として3年度に区内の小・中学校38校に対して以下のような支援を行った。なお、学校支援モデル事業は3年度末で終了した。

- ・学校図書館に学校図書館支援員を配置
- ・各校の学校図書館運営計画に基づく、学校図書館の図書選定の支援や蔵書管理
- ・調べ学習のための資料の提供

5 障害のある人へのサービス

全国の図書館などと連携して点字資料・録音資料の郵送貸出しを行うほか、ボランティアの協力を得て、本や雑誌の録音資料製作や対面朗読サービスを行っている。

また、外出が困難な区内在住の障害者等には、郵送で図書館資料を貸出すサービスを行っている。

そのほか、乳幼児や障害児向けの布の絵本の製作や、聴覚障害児も楽しめる手話つきおはなし会を行っている。

〔サービスの状況〕

3年度

項目	点数等	
製作録音資料数	151点	
対面朗読実施時間	延べ1,376時間	
外出困難障害者等資料郵送サービス貸出点数	7,716点	
布の絵本製作数	39点	
講習会名	実施数 (回)	参加者数 (人)
音訳者養成等講習会	3	延べ 34
布の絵本製作講習会	4	延べ 29

注：講習会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部事業を中止・縮小した。

しに対応している。

また、利用者の利便性を高めるため資料検索機や家庭用パソコン・携帯電話等からの資料検索・予約サービス、Eメールによる予約資料の取置き通知サービス等を実施している。

〔予約状況〕

3年度

項目	点数等
予約点数 (個人)	2,439,407点
うちインターネットからの予約点数 (個人)	2,143,930点
予約点数に占めるインターネット予約割合	87.9%

6 図書館情報システム

図書館資料の貸出し・返却・予約などの基本的な業務を管理するシステムで、年間約700万点の資料貸出

〔図書館の利用状況等〕

館名	種別	個人利用 登録者数 (人)	団体利用 登録数 (団体)	来館者数 (人)	貸出数			貸出予約数		
					個人貸出 点数 (点)	団体貸出 点数 (点)	協力貸出 点数 (点)	個人予約 点数 (点)	団体予約 点数 (点)	協力予約 点数 (点)
光が丘		40,173	185	612,724	1,092,435	11,080	4,121	321,623	526	2,078
練馬		26,291	149	385,545	606,752	16,004	456	221,017	4,401	491
石神井		23,515	101	291,762	601,569	10,477	1,147	135,054	4,124	1,186
平和台		15,679	141	231,827	511,037	13,377	501	163,392	3,586	522
大泉		15,613	137	234,918	460,094	23,011	626	125,309	16,920	655
関町		15,318	144	263,243	515,477	12,531	312	185,454	2,936	323
貫井		19,890	66	562,060	597,834	9,733	461	220,067	5,159	469
稲荷山		5,970	87	99,914	187,461	8,550	267	52,426	769	271
小竹		11,322	82	206,671	404,422	9,584	206	155,132	2,931	217
南大泉		8,658	80	175,928	365,607	3,948	126	114,657	1,662	133
南大泉分室		3,597	22	55,331	132,330	1,502	11	33,407	150	14
春日町		11,824	76	298,938	455,624	11,126	255	142,780	5,762	267
南田中		7,305	116	167,354	323,382	6,729	257	94,322	80	269
全館合計		205,155	1,386	3,586,215	6,254,024	137,652	8,746	1,964,640	49,006	6,895
高野台受取窓口		572	—	15,125	43,786	—	—	36,341	—	—
豊玉受取窓口		744	—	25,040	65,308	—	—	56,053	—	—
石神井公園駅受取窓口		3,206	—	77,748	192,712	—	—	164,280	—	—
大泉学園駅受取窓口		4,397	—	56,558	152,469	—	—	125,724	—	—
北町受取窓口		783	—	15,907	42,978	—	—	38,474	—	—
上石神井受取窓口		1,053	—	22,277	61,766	—	—	53,895	—	—
合計		215,910	1,386	3,798,870	6,813,043	137,652	8,746	2,439,407	49,006	6,895

〔図書館の所蔵資料〕

3年度末現在

館名	種別	図書資料 (冊)	雑誌 (冊)	視聴覚資料 (組)	視覚障害 者用資料 (点)
光が丘		331,513	13,802	22,443	6,595
練馬		148,786	3,305	11,531	1,172
石神井		223,471	2,906	7,989	—
平和台		156,692	3,710	7,969	—
大泉		226,806	3,419	8,648	—
関町		148,201	6,324	6,938	—
貫井		139,718	4,231	7,457	—
稲荷山		91,130	3,396	4,716	—
小竹		84,569	2,366	8,459	—
南大泉		69,583	2,062	4,886	—
南大泉分室		27,305	229	0	—
春日町		117,500	2,783	9,537	—
南田中		109,407	2,375	6,224	—
合計		1,874,681	50,908	106,797	7,767

(3) 文化財を保存・活用・継承する

●文化財保護の推進

区には、郷土の歴史や自然を伝える有形、無形の文化財が多数ある。

文化財を守るためには、区民一人ひとりの理解と認識を高めることが必要である。区は、かけがえのない文化財を保護・保存するとともに区民に紹介し、文化財に対する理解と認識の向上に努めている。

●文化財の指定・登録

昭和61年3月に制定された「練馬区文化財保護条例」に基づき、同年12月に学識経験者で構成された練馬区文化財保護審議会を設置している。

区指定・登録文化財は、区が事前調査を行い、文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得て指定・登録される。3年度は新規の登録が3件であった。(区内の指定・登録文化財については、巻末資料の232～233ページを参照)



〔光傳寺の半鐘〕



〔妙福寺の半鐘（本堂）〕



〔妙福寺の半鐘（祖師堂）〕

●文化財保護のための主な事業

1 埋蔵文化財の調査・保存・活用

開発行為により、埋蔵文化財（遺跡等）の破壊の危険があることから、区では、遺跡等の範囲の確認を行うとともに、その保護・保存に努めている。遺跡消滅の恐れがある場合は、発掘調査等を実施し、記録保存の措置をとっている。

3年度は遺跡地で工事を行う届出が102件、通知が7件あり、遺跡の有無を確認するための試掘・立会調

査が87件、発掘調査が2件あった。

出土品の一部は、生涯学習センター分館などに展示している。

2 東京文化財ウィーク参加事業

「東京文化財ウィーク」は、都の呼びかけによる、国・都指定文化財の公開を促進する期間である。3年度は10月30日から11月7日までの9日間を中心に、つぎの企画事業を行った。

・^{おさき}尾崎遺跡の展示説明会

（10月31日 20人参加）

また、石神井公園ふるさと文化館で、つぎの企画事業を行った。

・石神井城跡発掘パネル展

（10月30日から11月7日）

・特別公開「小野蘭山墓誌」

（10月30日から11月7日）

3 刊行物の発行

3年度はつぎの刊行物を発行した。

・ねりまの文化財（年2回）

・埋蔵文化財調査報告36

4 文化財説明板、道標の設置

身近な文化財に対する区民の理解を深めるため、説明板などの設置を行っている。3年度は、修繕5件を実施し、総数177件となっている。また、道標は29か所に設置している。

5 文化財防火デー

昭和24年1月26日、法隆寺金堂壁画が焼損したことをきっかけとして、毎年この日を中心に全国的に文化財防火運動が行われている。

区では、各消防署と連携しながら、文化財愛護のPRに努めている。3年度は、本覚寺で一斉放水等の訓練を行った。

6 郷土芸能ねりま座公演

区内で継承されている民俗芸能の普及・発展のために公演を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年度の開催を中止した。

●文化財保護推進員

文化財の現況を把握し、区民に文化財保護思想の普及・啓発を図るため、昭和63年2月に文化財保護推進員制度を設けた。

文化財の所有者をはじめ多くの区民の協力のもとに、文化財の保護・保存を行っている。

●^{おさき}尾崎遺跡資料展示室

春日小学校建設の際に調査した「尾崎遺跡」の資料展示室を、昭和58年、同小学校内に開設し、出土品約200点を展示している。

(4) スポーツ活動を支援する

●スポーツの機会の充実

豊かなみどりの中で誰もがスポーツを楽しめるまちを目指し、スポーツ施設を積極的に整備してきた。

これらの施設では、地域のスポーツ団体をはじめ、区民の活発なスポーツ活動が行われている。こうしたスポーツ団体との協働により、区民体育大会、練馬こぼしハーフマラソンといったイベントや初心者スポーツ教室などを実施している。

〔スポーツ事業〕 3年度

区 分		内容および参加人数 (人)	
各種大会	区民体育大会 (※1)	26 種目	12,249
		総合開会式	192
	都民体育大会 (※1)	1 種目	10
	都民生涯スポーツ大会 (※1)	2 種目	14
	城北地区競技会 (※1)	2 種目	50
	女性スポーツ大会 (※1)	2 種目	548
	都民スポレクふれあい大会 (※2)	—	—
野外活動	城西ブロックスポーツ交流大会 (※2)	—	—
	区民歩行会	9月25日 東久留米	36
	親子自然ふれあいウォーク	3月5日 東村山	7
	初心者スポーツ教室 (※1)	25種目 45教室	1,946
	夏休み水泳教室	1校	28
	少年少女スポーツふれあいひろば	2月19日実施	93
	スポーツの日記念行事	10月10日実施 総合体育館ほか6会場	6,487

※1：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部中止

※2：新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止

●地域スポーツ指導者の育成

スポーツ実施率を更に高めるため、多様なスポーツへの要望に応じられるよう、質の高い指導者等の育成に努めている。

1 スポーツ推進委員

スポーツを推進するための連絡調整や実技指導、その他スポーツに関する指導および助言を行い、3年度末現在、28人のスポーツ推進委員が活動している。

区民歩行会や小学生を対象としたアウトドア事業など、さまざまなイベントの実施を通して、区民にスポーツをする楽しさを伝え、参加へつなげている。また、区内スポーツ関係団体が連携して実施するスポーツイベントの連絡調整および運営や、パラスポーツに係る取組も行っている。

2 スポーツリーダー養成講習会

スポーツリーダー養成講習会を開き、修了者に対して認定を行っている。3年度末現在、624人が認定を受けている。

●総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブ (SSC) は、

- ・地域の人々が中心となって運営する
- ・子どもから高齢者まで幅広い年齢層が交流できるなどを特徴としている。

現在、7つのクラブは区立体育館に活動拠点を設け、会員制による運営を行っている。

〔総合型地域スポーツクラブ (SSC)〕 3年度

クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数 (人)
NPO法人SSC谷原 アルファ (SSC谷原)	平成14年8月24日	13,289
NPO法人スポーツコミュニティ桜 (SSC桜台)	平成14年9月5日	3,148
NPO法人スポーツクラブホワイエ上石神井 (SSC上石神井)	平成14年12月17日	8,209
NPO法人総合型地域スポーツクラブ平和台 (SSC平和台)	平成14年10月4日	17,659
NPO法人光が丘総合型地域スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC光が丘)	平成14年9月10日	6,669
NPO法人コミュニティネットSSC大泉 (SSC大泉)	平成14年8月13日	28,586
NPO法人豊玉・中村地域スポーツクラブクラブプラッツ (SSC豊玉・中村)	平成21年2月21日	10,471

●スポーツ施設の整備

区民のスポーツ活動参加を促進するために、区ではスポーツ施設の整備を図り、活動の場の確保を進めている。

3年度は、大泉学園町希望が丘公園の拡張工事 (第II期)、大泉さくら運動公園運動場 (多目的運動場) の人工芝改修工事、中村南スポーツ交流センターおよび三原台温水プールの天井等改修工事を行った。

3年度末現在、区のスポーツ施設は、体育館7館、プール7か所、成人野球場5面、少年野球場6面、庭球場29面、多目的運動場6面、競技場1面、多目的広場4か所、スポーツ広場1か所である。

〔体育館の利用状況〕

(単位：人) 3年度

施設名 区分	総合体育館	桜台体育館	上石神井体育館	平和台体育館	大泉学園町 体育館	光が丘体育館	中村南スポーツ 交流センター(※)
個人利用	28,697	9,124	38,531	40,108	35,646	24,562	10,473
登録団体利用	40,975	20,545	22,966	16,495	14,282	15,291	5,677
連盟・SSC	16,685	3,158	4,848	17,284	11,470	17,406	7,704
大会・事業等	8,433	4,106	4,103	2,040	976	6,750	543
自主事業	—	—	4,727	3,322	2,563	1,119	10,001
健康体力相談等	—	—	—	—	—	114	—
トレーニング室	25,565	—	25,762	19,285	23,797	39,513	16,224
合計	120,355	36,933	100,937	98,534	88,734	104,755	50,622

注：①トレーニング室には説明会参加者を含む。

②光が丘体育館の個人利用には屋内ランニングコース利用者を含む。

③新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年4月25日から5月31日まで休館（屋外施設は、3年4月25日から5月11日まで休場）

※：中村南スポーツ交流センターは、改修工事のため3年4月1日から9月30日まで休館

〔プールの利用状況〕

(単位：人) 3年度

施設名 区分	上石神井体育館 温水プール	平和台体育館 温水プール	大泉学園町 体育館温水 プール	光が丘体育館 温水プール	中村南スポーツ 交流センター 温水プール(※)	三原台 温水プール (※)	石神井プール
個人利用	62,263	66,112	48,039	73,639	39,427	35,362	32,921
登録団体利用	6,386	1,530	4,768	4,782	1,678	4,058	—
連盟・SSC	1,063	4,737	7,828	1,957	6,559	1,258	—
大会・事業等	2,021	260	330	2,189	533	231	—
自主事業	1,757	4,964	110	55	3,202	518	—
障害者専用コース	1,051	668	1,202	655	379	265	—
合計	74,541	78,271	62,277	83,277	51,778	41,692	32,921

注：温水プールは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年4月25日から5月31日まで休場

※：中村南スポーツ交流センター温水プールは、改修工事のため3年4月1日から9月30日まで休場

※：三原台温水プールは、改修工事のため3年10月1日から4年3月31日まで休場

〔屋外施設の利用状況〕

3年度

区分	施設名(面)	利用数(人)
庭球場	豊玉中公園庭球場	3 23,765
	びくに公園庭球場	2 6,385
	土支田庭球場	7 41,903
	夏の雲公園庭球場	4 40,767
	大泉さくら運動公園運動場(庭球場)	3 20,662
	大泉学園町希望が丘公園運動場(庭球場)	3 27,324
	石神井松の風文化公園(庭球場)	7 50,199
成人野球場	学田公園野球場	1 11,640
	北大泉野球場	2 13,357
	東台野球場	2 20,385
少年野球場	荒川河川敷野球場(硬式少年野球)	3 30,851
	練馬総合運動場少年野球場	2 26,254
	大泉学園少年野球場	1 8,967
運動場等	練馬総合運動場公園(陸上競技場・多目的広場)	58,348
	大泉運動場	43,280
	大泉さくら運動公園運動場(多目的運動場)(※)	66,140
	大泉学園町希望が丘公園運動場(多目的運動場)	45,616
	石神井松の風文化公園(多目的広場)	32,635
	びくに公園多目的広場	25,238
	総合体育館東側多目的広場	548

注：新型コロナウイルス感染拡大防止のため3年4月25日から5月11日まで休場

※：大泉さくら運動公園運動場(多目的運動場)は、改修工事のため4年2月1日から3月31日まで休場

●練馬こぶしハーフマラソン

区民の健康・体力の更なる増進と地域スポーツの振興、練馬の魅力の発信を目的として、平成26年度から30年度まで毎年実施していた。

満開のこぶしや桜を楽しみながら幹線道路を走行できるコースや、沿道からの途切れない応援が大会の特色であり、参加者から高い評価を得ている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、元年度から3年度まで開催を中止した。4年度は3月に開催を予定している。

〔練馬こぶしハーフマラソン ロゴ〕
区の木である「こぶし」の花がデザインされている。



〔開催状況〕

ハーフマラソン種目

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
開催日	27.3.29	28.3.27	29.3.26	30.3.25	31.3.24
開催時天気	晴	晴	雨	晴	晴
エントリー数	5,248人	5,240人	5,239人	5,423人	5,433人
当日出走者数	4,674人	4,602人	4,021人	4,807人	4,764人
完走者数(完走率)	4,464人(95.5%)	4,478人(97.3%)	3,899人(97.0%)	4,510人(93.8%)	4,512人(94.7%)

マイルラン種目

		第3回	第4回	第5回
エントリー数	中学生の部	150人	100人	58人
	小学生とペアの部	330組	296組	342組
当日出走者数	中学生の部	100人	83人	53人
	小学生とペアの部	約200組	269組	303組
			538人	606人

注：第3回は試行実施

●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(東京2020大会)が、3年7~9月に開催された。区は、開催都市の自治体として、聖火リレー点火セレモニーの開催やホストタウンとして事前キャンプ受入れなど、大会の成功に向けて都や組織委員会と連携・協力を行った。また、東京2020大会に出場する区ゆかりの選手等を応援する機運醸成事業などを行った。

- (1) 東京2020大会を区民とともに応援するため、大会に出場する区ゆかりの選手やホストタウン相手国の選手を紹介するパネル展を実施した。パネル展では、選手に向けた応援メッセージを記入するブースを設置し、後日、区民等から集めた応援メッセージを選手へ届けた。
- (2) オリンピック聖火リレー点火セレモニーが、7月17日に練馬総合運動場公園で開催された。パラリンピック聖火リレーでは、「練馬区の火」の採火のため、区立小学校の児童が火起こし体験を行った。

※聖火リレーの公道走行は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、東京都内(島しょ部を除く)では中止となった。

- (3) ホストタウンの取組として、デンマーク王国のオリンピック射撃選手団と区立小学生とのオンライン交流会を行った。また、エクアドル共和国のパラリンピック陸上選手団の事前キャンプ受入れを行った。